

第6回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

- 日時 平成29年7月19日（水）午後6時
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

進行：伊藤会長

2 報告

(1)（仮称）えんがる町民センターの施設管理について

説明：加藤総務部長

説明要旨
<ul style="list-style-type: none">・ 商工会議所と観光協会の（仮称）えんがる町民センターへの入居希望について、設計に反映するにあたり、早い段階で決めていく必要があり、町として一定の方向性を示させていただく。 <p>【商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 商工会議所については、これまでに町内の空き店舗又はふぁーらいとを改修して入るが良いのではないかとの意見があった。また、専門的な業務が発生することから入居は難しく、建設費や維持管理費にも影響するのではないかとの意見もあった。・ 昨年、一昨年の商工会議所からの町への要望書の一つとして、町民センターへの行政財産の使用許可及び管理業務の委託について要望書の提出があったことから、6月に町から商工会議所に対し、新たに建設する音楽ホールを含めた、町民センターの管理について、指定管理者等を含め受託が可能かどうかの意向を確認したところ、町の集客施設として、機能が十分に果たせるよう、センターに事務所を構え指定管理者として、管理業務に当たりたいとの回答があった。・ 指定管理者として、あらゆる面で、主体的に関わっていただければ、商工会議所の事務所スペースを確保し進めていきたいと考えている。なお、現在の福祉センターの商工会議所事務所の使用面積は、108㎡となっている。 <p>【観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現在、木楽館に入っている観光協会についても、観光面等を重視した場合には、市街地の中心部である町民センターへの入居を希望している。・ 木楽館で使用しているような、事務所及び物販スペースを確保するとすると、全体の規模がある程度決められている中では、他の会議室等に支障をきたすと思われる。そのため、観光協会については、旧ふぁーらいとへの移転を考えていきたい。・ 木楽館については、町の農政林務課・森林組合などが入居していた経過もあり、移転後の木楽館の利活用については、担当課である農政林務課で利活用を十分に協議していただきたい。

【意見】

発言者	内容
佐藤委員	商工会議所の指定管理者の話について結論は出ていませんが、企画・運営を含めた総合的な指定管理ということでしょうか。
事務局	そういった方向で考えています。その中で、全ての業務を担うということではなく、臨機応変に他の団体が持つ事業もあるのではないかと思います。
宮崎委員	指定管理者の選定はとても大事な部分であります。どのように決定するのでしょうか。募集するのでしょうか。
事務局	今のところ非公募での選定を考えており、議会にもそのように説明していく予定です。今後、商工会議所と詳細を詰めた中で、議会の議決を経て決定となります。
宮崎委員	ふぁーらいについては、管理はどのようになるのでしょうか。
事務局	ふぁーらいとは他の団体が管理するという方法もあると思います。
高桑委員	斜里町のホールでは、町民から代表者を出して運営管理を行っていますが、そのような考えはないのでしょうか。
事務局	今のところ商工会議所という一つの組織が担うという方向で考えています。他の町のホールではNPO 法人が運営しているところもありますが、遠軽では今のところそういった組織がありません。これから検討する部分かと思えます。
高桑委員	道の駅についても同じだと思いますが、役場が入らない町民の組織があると良いと思います。
事務局	町民が自主的に動いてくれるという形になることは、良いことだと思います。
本田委員	施設の利用における規則は大事ですが、それにとらわれすぎず、利用者の立場になって柔軟に対応していただくと良いと思います。
事務局	公共施設ということで、必ずルールはあるものであり、その範囲の中でどうするかということになります。がんじがらめにして使いにくい施設とならないように考えていきたいと思えます。
伊藤会長	町としては、現福祉センターの管理を商工会議所が行っている中で、これまでに事故があったこともなく、これまでの流れを見て、ベターと考えたのではないかと推察しますが、最終決定は議会が行います。 指定管理を受けるとなると、今よりも人員は増えることとなり、スペースの問題も出てきます。
事務局	商工会議所が指定管理者になるとすれば、それなりのスペースを確保する必要があります。詳細はこれから詰めていきます。
秋田委員	議会で決まらないと、進めることはできないのでしょうか。
事務局	そういうことではなく、進捗状況は逐一議会にも報告しながら進めることとなります。
佐藤委員	観光協会が町民センターに入るという話は、どうなのでしょう。

事務局	機能の一部分は可能かと思いますが、施設全体の面積を考えると難しい面もあります。ふぁーらいとをどう活用するのかも考えなければなりません。
佐藤委員	道の駅と観光協会との関係はどうなるのでしょうか。
事務局	観光協会が指定管理者になる前提で進めています。全ての事務所機能がそちらに行くということではありません。

(2) 各部会における検討状況について

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨
<p>(施設部会) 別紙 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 大ホールの基本条件等として、大ホールは吹奏楽を主体とし、音響性能に優れたホールとする。その他に演奏・演劇・ダンス・バレエ・式典・講演会の利用を想定する。 太鼓の演奏については、100dBを越える音であり、重いコンクリートの壁や二重の壁にしても完全に音を遮断することができないという検討事項がある。 客席については、椅子の間隔を540mm、前後の間隔を1000mmとし、今後の高齢化を考慮して車椅子席4席を想定する。立見席については、親子鑑賞室との干渉について考慮し、席数を6名以上、VIP対応としての利用も想定する。 楽屋の検討事項として、来賓対応できる部屋の必要性や、クロークについては、専用の部屋とするのはもったいないという意見がある。また、用具庫として、太鼓と楽器の保管場所の面積がどの程度必要となるか。 リハーサル室の基本条件としては、三味線、太鼓、ダンスなどの練習、太極拳や体操での利用を想定し、検討事項としては、吹奏楽が練習で利用することはなく、演奏会での音合わせなどで使用するということ。 小ホールについては、基本条件は、現福祉センターのホールと同程度の規模とし、ダンス、講演、セミナーなどでの利用や、客席は200席以上必要とし、ステージは固定席とする。また、可動壁によるラウンジとの一体利用については、完璧な遮音は無理である。 託児室やカフェの部屋の有無、管理事務室1については、管理者が直営か指定管理者か、清掃員が着替える別室が必要である。 光庭が必要かどうか。ホワイエについては、イベントがないときの利用・活用方法として、児童プレイルームやJRの待合としての利用をすること。 ラウンジは、遠軽のお土産を買えるスペースや鉄道ジオラマの展示スペースなど。 2階会議室については、遮音性能の設定や可動間仕切りを設置する。 研修室1、2については、選挙時の事務局や会計検査会場としても使用すること、料理研修室については、ふぁーらいとでの利用と併せて有無を検討すること。 和室1には、茶道の利用を考慮し、水屋を設置すること。 線路側に通路を設けることについては、JR遠軽駅からの要望事項となっている。 <p>(管理部会) 別紙 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 休館日は、年末年始の12/31～1/5とする。また、管理運営上必要と認めるときは、臨時に開館又は休館することができることとしている。

- ・ 開館時間は、午前9時から午後10時までとし、イベント内容や荒天時には、午前9時以前又は午後10時以降も開館することを可能とする。また、町民センターの管理運営上必要と認めるときは、臨時に開館時間を変更することができることとしている。
- ・ 施設利用の受付時間は、午前9時から午後5時までとしている。
- ・ 申請方法は、電話又は窓口で希望日の空き状況を確認し、窓口で申請することを原則とする。また、将来的にはインターネットを活用した受付を考慮する。
- ・ 申請時間は、受付時間と同じ、午前9時から午後5時までとする。
- ・ 情報提供として、インターネットや館内掲示板で施設の空き状況やイベントを確認できるようにすること。インターネットでは、使用団体が特定されないよう配慮すること。館内掲示板は操作を簡易なものにすること。
- ・ 利用決定方法は、先着順とし、申請方法との関連を整理したいと考えている。
- ・ ③の申請時期について、メインホールは1年前の月初めから受付を開始し、予約期限は、7日前までとする。
- ・ 小ホール、リハーサル室、会議室、研修室、和室、その他については、1年前の月初めから受付を開始し、予約期限は当日までとしている。
- ・ 使用料金の設定の考え方として、別途算定と記載しているが、使用料の原価は、施設の規模・機能や施設管理者によって金額が異なるので、これらの要件が決定するまでは、算出することはできず、概ね、今年の12月頃までには原価を算出し、福祉センターや青少年会館の使用料のほかに、オホーツク管内における類似施設の使用料なども勘案しながら算定したいと考えている。
- ・ 利用区分は、時間単位で設定することとしている。町内の公共施設は、午前、午後、夜間といった区分で利用するように料金も設定しているが、町民センターでは、1時間単位での利用区分と料金の設定を行いたいと考えている。
- ・ 減免の考え方としては、別途検討ということで、基本的には、遠軽町が定めている「遠軽町使用料減免規定運用指針」に基づいて規定するところであり、使用料金の設定などと併せて、別途検討を行う。
- ・ 割引制度、使用制限、飲食、喫煙、ごみの取り扱い、防災、2の運営組織として、サポーター制度や助成制度についても引き続き検討を行うこととしている。
- ・ 3のソフト事業提案は、中心市街地に新たなにぎわいを生むとともに、将来に亘って町民センターによる活性化を図るため、自主文化事業等に係る企画提案を行うこととし、別途企画書などの作成をしたいと考えている。

○協議

【意見】

発言者	内容
本田委員	照明の充実として、スポットライト、ムービングライト、プロジェクションマッピングとありますが、どういうものなのでしょう。かなりお金がかかるのではないのでしょうか。

事務局	これらは団体からの要望として上がってきたものです。これから具体的な協議となっていきます。
アドバイザー	ムービングライトは安いものもあります。動くスポットライトは高く、あまり使いません。
高桑委員	用具庫の楽器というのは、どういうものを入れるのでしょうか。常時、置いておくのでしょうか。
高橋委員	主に打楽器などになると思います。小学生などが運ぶのは大変ですし、毎回トラックに積んでくるのにもお金がかかるので、据え置きにすることで歩いて練習に行けます。
伊藤会長	遠軽高校では教室で練習をしていますが、町民センターですることができるということです。
宮崎委員	プロセニウムとはどういう意味でしょうか。
アドバイザー	舞台における枠のことであり、額縁という意味になります。
宮崎委員	それは可動式にできるのでしょうか。
コンサル	そのものを動かすことはできませんが、カーテンなどを用いて枠を小さく見せる方法はあります。
伊藤会長	管理部会の方で、何かありませんでしょうか。
アドバイザー	先ほどNPOの指定管理の話がありましたが、NPO法人がどういう仕事をするかということ、行政から委託を受けて管理することとなり、例えば、商工会議所だけではなく、色々な文化団体の理事の方などが入って、NPO法人の中で理事会を作り、そこで様々な意見を出して催事を考えていきます。 ただし、行政から管理費を支払われるにあたって、どういうことをするか の報告をする必要があります。その中でも、自由度は高く、使いやすい施設 づくりができると思います。大きな修繕などは行政側で負担し、軽微な修繕 などは運営費の中で賄うといった形の運営が、最近、多くなってきていま す。 また、観客としての利用者と施設を借りる側の利用者、それぞれが求める 施設の便利さが大事になります。これに管理者を加えた三位一体で考えてい かなければなりません。
本田委員	検討事項はすごく多いという風に感じました。
アドバイザー	こういう皆さんでの話し合いはとても大事で、5年、10年後になってからそのことに気が付くと思います。
伊藤会長	いかにして利用者に対するサービスを向上させるかということだと思います。
高橋委員	予約の申請時期について、例えば、町民は1か月早くできるだとか、町民センターということで町民が優遇されると良いと思います。他の町でそういった事例がありました。抽選で負けたら終わりとならないように、そのような形にできませんでしょうか。
事務局	町民よりも町外の方が使っているということにならないよう、そういった方法も考慮したいと思います。

横田委員	もしもバッティングした時に、優先順位を決める明確なものがあつた方が 良いのではないのでしょうか。町外の方は1か月遅れでの申請となれば、バッ ティングすることはないと思います。
高橋委員	他の町のホールをよく使いますが、学校が優先されたとしても、小学校か ら高校まである中で、いつも同じところが使うということにもなりかねない ので、不公平感が出ないように、町内では決めない方が良いでしょう。話 し合いの中で、融通をきかせられれば良いのではないのでしょうか。
本田委員	町外の方は、バッティングした時に話し合いをしてほしいと言われれば、 譲ると思います。地元を押しつけて使うということにはならないと思いま す。
佐藤委員	具体的には指定管理者が考える部分だと思いますが、町内同士であれば話 し合いで決めることができれば良いと思います。
伊藤会長	今後、これらのことについては、改めて部会の方で進めていきたいと思ひ ます。

3 議題

(仮称)えんがる町民センターブロックプランについて

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨
<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで検討を重ねてきた内容をもとに、コンサルタントがブロックプランとして、新 たに図面を用意したので、内容を石本建築事務所から説明いただく。 施設の規模としては、前回から若干大きくなっている。 図面については、会議終了後に回収する。 <p>(コンサル)</p> <ul style="list-style-type: none"> 線路側に遠軽駅へのアクセスを可能にする5.5m幅の車路を確保した。 主玄関は駐車場側とし、岩見通側に副玄関を設け、エレベーターを利用して遠軽駅への アクセスを可能にした。 貸館としての頻度が少ない大ホールのトイレは、普段も使える配置に変更している。 できるだけ段差を設けず、バリアフリーを徹底した。 空間の汎用性を考慮する。 プロセニアムの幅は18mで縦が9mとなり、大きめの作りで吹奏楽に対応している。 簡易な幕で小さくもできる。 ステージが良く見えるように高さを確保することで、中では一つになっているが部分的 に2階席のようにになっている。その下にトイレを配置し、空間を有効利用している。 小ホールは椅子を並べて338席確保している。また、遮音のことと十分な容量である ことを考慮して、可動壁は必要ないと考えた。 リハーサル室は小ホール横に配置した。

- ・ 調理研修室と託児室を1階に配置し、イベント等の炊き出しや、子どもを近くで見られるような配慮をした。
- ・ 光庭を取りやめ、2階に福祉センター機能の大部分を集約した。
- ・ 吹奏楽の大会時などを想定し、大ホール・小ホール・リハーサル室のスムーズな動線を確保した。
- ・ 面積を減らすとすれば、黄色の部分（交流ホール（195㎡）・ホワイエ（342㎡））となるのではないかと。
- ・ 交流ホールやホワイエは小さい子どもや中高生の居場所として確保する。砂川のホールにも同様の空間があり、子ども達でにぎわっている。
- ・ 大ホールの立見席は2m程度、100～200名のスペースを確保する。また、最後列の座席を取り外すことで、より多くの人を入れることが可能となる。
- ・ 大ホールの鑑賞室は1段高い場所に配置し、階段を利用して上がる。
- ・ 楽屋は大ホール裏に2室のみ設けるが、2階の和室を臨時的楽屋として利用することができ、リハーサル室横の階段を下りて大ホールにアクセスできる。
- ・ 2階の通路などは、リハーサル室上部及び小ホール上部から採光が可能である。
- ・ 光庭は取りやめ、2階に福祉センター機能の会議室等を配置した。
- ・ 旧遠軽中央病院の地下空間を有効活用し、地下には機械室や、音圧の高い太鼓やバンド演奏の練習をする部屋を設ける。
- ・ 荷物の搬入を考慮し、エレベーターを地下まで行けるようにする。
- ・ 公共歩廊を通じて、駅から直接アクセスできるようにする。

【意見】

発言者	内容
本田委員	リハーサル室からトイレまで回り込む形になり、子どもたちのことを考えると、別に扉をつけることはできないのでしょうか。
コンサル	音や光の漏れを防止するため、前室を設けそこから出入りすることとなります。要望の意図はわかりますが、ご理解いただきたいと思います。
高桑委員	2階和室からは、リハーサル室横の階段を使って下りることができそうですが、水屋側から下りることはできないのでしょうか。
コンサル	リハーサル室横の階段を想定しています。
橋口委員	現福祉センターでは地下にたくさんの物品を保管していますが、町民センターの地下は広いのでしょうか。また、青年会議所でも一室借りており、荷物の上げ下ろしにエレベーターを使うことは可能でしょうか。
コンサル	なるべく要望には応えたいのですが、予算の問題もあります。ホワイエ横のエレベーターの利用は可能で、2階まではエレベーターを乗り換える形になります。
平野委員	駅からの公共歩廊にはルーフはあるのでしょうか。また、除雪ができる環境なのでしょうか。
コンサル	予算によりルーフは変わると思います。

事務局	除雪に対応できるように車路を約9m確保しています。
本間委員	地下の太鼓の部屋は物品庫ではなく、練習用の部屋ということだと思います。演台などの物品をどこに保管するかを考える必要があります。
事務局	大ホールの周りに倉庫を設けているので、そちらを利用することも可能だと思います。
伊藤会長	<p>事務室A横のカフェスペースの大きさはいかがでしょうか。調理場を取るとなるとどのようになるでしょうか。また、調理研修室は現福祉センターでの利用頻度を考慮すると、どの程度の大きさが必要でしょうか。カフェをこちらに併設することも可能だと思います。</p> <p>観光協会がふぁーらいとに入ったとして、観光案内のことを考えると良いのかどうかということも、考えていかなければなりません。</p>
本田委員	調理研修室は何に利用するのでしょうか。主にビアパーティーなどでしょうか。
コンサル	現福祉センターにもある機能であり、2階に収まらないということや炊き出しの機能、子どものそばが良いということなどを考慮して、1階に配置しています。
アドバイザー	最近是人に見せる調理のスタイルが流行っています。みんなでケーキ作りをしたり、材料を運んだりするのも1階にあることが重要となります。これからの時代は、より利用頻度が高くなると思いますし、必須だと思います。
平野委員	2階の和室の3室は仕切られているのでしょうか。仕切りを取り外しできれば、一体的に使うことができます。
コンサル	今回は範囲を確保しただけの図面となっており、そういった要望も聞いているので、今後、詰めていきたいと思います。
秋田委員	商工会議所と観光協会が入るとなると、観光協会のスペースがないように思います。そうすると、調理研修室はふぁーらいとにあった方が良いのではないのでしょうか。
横田委員	調理研修室は防災の機能を考えると、町民センターにあった方が良いと思います。炊き出しなどが考えられますが、大雪災害の時はふぁーらいとにあると利便性が悪くなります。
秋田委員	観光協会も町民センターに入って、観光案内所を兼ねた方が良いのではないのでしょうか。
横田委員	観光協会そのものが入れないにしても、観光案内やお土産品の販売スペースがあると良いと思います。
本間委員	事務室Aは84㎡ということですが、現福祉センターの商工会議所の事務室の面積はどれくらいでしょうか。
事務局	会頭の部屋を含めて、108㎡となっています。
本間委員	現福祉センターの事務室はそこまで広いとは感じられず、広さについては追って詰めさせていただきたいと思います。

アドバイザー	全体的にとっても良くなったと思います。これから大事なのは反響板の方法や形状についてだと思います。緞帳を作るのであれば早めに進める必要があります。なければオペラカーテンでの対応が考えられます。
佐藤委員	緞帳は使わないという方向です。
本田委員	映画を上映できるような、スクリーンがあると良いと思います。
アドバイザー	映画については、小ホールが適していると思います。懐かしの映画の上映では100人入るのも、なかなか難しいと思われます。
伊藤会長	そういった点も踏まえて、今後、部会の方でも検討を進めていきたいと思っています。

4 次回会議日程について

検討協議会や部会は金曜日の開催を基本としていたが、お盆期間も考慮し、午後6時からの開催を前提として改めて案内する。

5 閉会

(午後8時10分閉会)

第6回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者一覧

区分	氏名	団体名等	備考
委員	本 間 克 明	遠軽商工会議所	
委員	横 田 昌 弘	遠軽町文化連盟	
委員	秋 田 博	えんがる商工会	
委員	宮 崎 良 公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	村 上 武 志	えんがる町観光協会	
委員	橋 口 理 教	遠軽青年会議所	
委員	本 田 ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	井 上 幸 次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	高 橋 利 明	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平 野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	平 間 喜 弘	遠軽がんばろう太鼓同好会	
委員	伊 藤 榮 三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	清水川 一 儀	一般公募、連合遠軽	
委員	高 桑 健 次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	佐 藤 登	一般公募	
アドバイザー	太 田 晃 正	有限会社時円プランニング代表取締役	
オブザーバー	金 沢 一 彦	経済部建設課長	
オブザーバー	井 上 隆 広	経済部建設課主幹	
オブザーバー	落 合 一 実	経済部水道課長	
事務局	加 藤 俊 之	総務部長	
事務局	斉 藤 隆 雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今 井 昌 幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安 西 一 樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		2名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	26名		

欠席：藤江昭委員（遠軽町社会福祉協議会）

大西定信委員（元遠軽町文化センター等を考える会委員）